

# 令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	地球環境化学	単位数	2	学年	1	科	環境化学科
----	----	----	--------	-----	---	----	---	---	-------

## 1、科目の目標

- 関数電卓の使用方法を理解した後、地球環境問題に対し環境と人間のかかわりや、化学技術が環境に果たす役割とは何かについて、化学的な基礎学習と共に理解する。
- 環境化学と関連づけ、危険物に関する基礎的な知識・技術を習得する。

## 2、使用教科書・副教材

地球環境化学（実教出版）、危険物取扱者受験教科書（向学院）、計算技術検定問題集（全国工業高等学校長協会）

## 3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	<関数電卓の使用方法>	期末考查	10
	6月	<地球と環境と人間> 地球と人類 ・地球の生い立ち ・地球の構造 ・地球上の物質循環 ・地球環境と人間の活動 地球環境問題 ・地球をとりまく環境問題 ・これからの地球環境		
二学期	7月	<危険物に関する知識>	中間考查	28
	8月	危険物にかかわる法令 燃焼および、消火に関する基礎知識 危険物の性質並びに、その火災予防および消火の方法		
	9月	<地球環境>	期末考查	
	10月	大気環境 ・大気の仕組み ・大気汚染 ・酸性雨 ・オゾン層の破壊 ・温室効果ガスの増加		
11月	水の環境 ・水の特性と分布			
三学期	12月	水の環境 ・水環境の現状	学年末考查	22
	1月	土壌の環境 ・土壌の形成と役割 ・土壌の汚染 ・土壌劣化		
	2月	・環境と生態系		
	3月			

## 4、評価の方法

主体的な言語活動	授業に当たっては発問を多くし、生徒が発言できるように工夫する。
関心・意欲・態度	授業中の学習意欲や態度、環境にかかわる記事についての関心などを観察し評価する。
思考・判断・表現	教科書、その他の問題を通して、理論的に考え解答できているか評価する。
観察・実験の技能	準備した物質や器具などについて興味を持って観察しているか確認する。
知識・理解	地球の環境や危険物について理解し、定着しているかテストや課題で確認する。

## 5、学習にあたっての注意とアドバイス

- 定期テストは年間4回実施し、学習内容の理解度や定着度について評価する。
- 各テスト終了後、成績不振者は追指導を受けることができる。
- 危険物取扱者試験を全員が受験し、資格取得に取り組む。また、その結果も評価対象とする。